

国際興業管理株式会社 ホテル青森

贈呈理由

空冷ヒートポンプチラー、業務用エコキュートの導入により
省エネルギー・環境保全を実現

宿泊・
温浴施設



ヒートポンプ給湯



空冷・水冷
ヒートポンプ



ホテル青森

充実した機能を有する 青森を代表する迎賓館

「ホテル青森」は、1967年12月に開業。

1992年5月28日にリニューアルオープンしており、客室は155室、大規模な結婚披露宴から国際会議なども開催可能な宴会場・会議場を備えている。この他、ブライダル関連の設備・サービスも充実し、レストラン、バー、カフェも併設され、あらゆるニーズに応えられる青森随一のシティホテルである。

2017年に開業50周年を迎えた同ホテルは、これまでに多くの皇族方や歴代首相を迎え入れるなど、青森の迎賓館的な役割を担ってきた。

省エネルギー、省CO₂に優れた ヒートポンプシステムを採用

これまでの空調システムは、A重油焼き炉筒煙管ボイラ(5,400kg/h×2台)、吸気式冷凍機(360USRt×2台)で構成されていたが、設置後25年を超過したことから更新が検討されていた。

そこで環境省のASSET事業(先進対策の効率的実施によるCO₂排出量大幅削減補助事業)を活用し、2017年12月に更新を行った。

採用した機器は、低外気温地域における加熱能力を強化したタイプの空冷ヒートポンプチラー(180kW×8台)であり、青森県内で初めての導入となった。

また、給湯システムには業務用エコ



加熱性能を強化した空冷ヒートポンプチラー

キュート(30kW×4台)、ガス焼き小型貫流ボイラ(750kg/h×2台)によるハイブリッドシステムを構築し、空調システム・給湯システム全体で11%の一次エネルギー消費量の削減が実現できた。

今後も、最適な運転による省エネルギー・省コスト・省CO₂を継続的に検証し、環境性に優れたホテルを目指していく。

一次エネルギー消費量削減効果

| | |
|--------|---|
| 従来システム | <ul style="list-style-type: none"> A重油焼き炉筒煙管ボイラ 吸気式冷凍機 一次エネルギー消費量:21,942GJ |
| 採用システム | <ul style="list-style-type: none"> 空冷ヒートポンプチラー 業務用エコキュート ガス焼き小型貫流ボイラ 一次エネルギー消費量:19,592GJ |



〔諸元〕「エネルギーの使用の合理化に関する法律施行規則」
 電気(全日):9.76(MJ/kWh) L P G:50.8(MJ/kg)
 電気(昼間):9.97(MJ/kWh) A 重油:39.1(MJ/ℓ)
 電気(夜間):9.28(MJ/kWh) 灯 油:36.7(MJ/ℓ)
 都 市 ガス:原則、エリアガス事業者の発熱量を確認。

ホテル青森

所在地:青森県青森市堤町1-1-23
竣 工:2017年12月更新

■ 設備概要

空冷ヒートポンプチラー 180kW×8台
〔東芝キャリア〕

■ 蓄熱設備概要

業務用エコキュート 30kW×4台〔三菱重工〕
貯湯槽 12m³